

(様式1)

平成26年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 013	提案機関名 畜産課
<b>要望問題名</b> 卵の低アレルギー鶏種の作出	
<b>要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】</b> 現在、子供を中心に卵アレルギーにより卵成分を含んだ食品を食べることのできない人も多い。卵アレルギーの主因は「オボムコイド」と言われているが、卵白に含まれるオボムコイドは、熱や酵素を加えてもほとんど変化せず、卵を使用した食品にはどうしても混入してしまうとの話もある。そこで、遺伝的にオボムコイドを作らない鶏種の開発に取り組むことで、卵アレルギーの子供や成人の方も安心して食べられる卵づくりとより一層の消費拡大につなげたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	① 農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	広島大学(研究開発中)と連携。

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	農業技術センター畜産技術所	<b>担当部所</b>	企画研究課
<b>対応区分</b>	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	(①、②、④の場合)		
<b>対応の内容等</b>	ご指摘のとおり、オボムコイドは卵アレルギーの主要なアレルギーで、最もアレルギー活性が強い、熱や消化酵素の影響を受けにくい耐熱性卵タンパク質です。 遺伝子組み換え技術を使って、低アレルギー性の鶏卵を開発する技術に取り組んでいるという事例もあるようですが、当所にはそのような技術の蓄積がないため、現状ではご要望の鶏種開発は困難です。しかしながら、鶏卵の消費拡大に有益な取り組みと考えますので、情報収集に努めてまいります。		
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			